

# 海運-港湾-鉄道 の システムズイノベーション を考える

平成22年5月12日 (水) 13:00-17:30

東京大学 本郷キャンパス 小柴ホール

## 【開催主旨】

港湾が国際海上輸送と内陸輸送の結節点として重要な役割を果たすことは言うまでもありません。特にコンテナ輸送に代表される物流においては海運・港湾・陸運が三位一体となってシームレスな複合一貫輸送を実現することが、産業力強化、ひいては低環境負荷社会の実現に貢献します。本シンポジウムでは、今後鉄道の役割も重要になるという認識も踏まえ、海運・港湾・鉄道を総合的なシステムとしてとらえ、その将来像・システムズイノベーションについて考えていきます。

## 【プログラム】

司会:末岡英利

13:00-13:10 挨拶

海洋技術フォーラム代表

湯原哲夫

13:10-14:00 招待講演

Principal of the Beckett Group

Jeannie Beckett

“Innovative Solutions to Freight Mobility in a Changing Environment”

14:00-16:40 講演

(1) **荷主から** 「コンテナ物流の現状と低環境負荷への取り組み」

キヤノン株式会社 ロジスティクスセンター担当部長

堀井直幸

(2) **海運から** 「海運からみた 海運-港湾-鉄道 システムズイノベーション」

日本郵船株式会社 渉外グループ

合田浩之

< 休憩 10分 >

(3) **民営化ターミナルから** 「名古屋港-港湾改革～自動化・シームレス化へのチャレンジ」

飛島コンテナ埠頭株式会社 相談役

内山人司

(4) **鉄道から** 「JR貨物 国内外一貫輸送に対する取り組み」

JR貨物 ロジスティクス本部国際物流開発部長

吉澤 淳

(5) **大学から** 「低炭素型シームレス物流の実現に向けて～海運-港湾-鉄道への期待」

東京大学 システム創成学専攻 特任教授

末岡英利

16:40 -17:30 パネルディスカッション

海運-港湾-鉄道によるシステムズイノベーション実現への課題

パネリスト: 講演者, モデレータ 及び 総括: 湯原哲夫

【主催】 海洋技術フォーラム

(共催: 東京大学 海運造船新技術戦略寄付講座 )

【 申 込 ・ お 問 い 合 せ 】

海洋技術フォーラム HP からお申込みください。定員 150 名。

<https://blog.canpan.info/mt-forum/>